

令和7年度 輝翔学園つくば市立谷田部小学校グランドデザイン

本県の教育目標

ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
郷土を愛し協力し合う心を育てる

目指す学校像

安全で安心な学校
学びを深める学校
規律と秩序のある学校

目指す児童像

やさしくたくましい子
勉学に励む子

「すべては子供たちのために」
誰もが楽しい谷田部小をめざして

本校の教育目標
個性を生かし やさしく たくましく 勉学に励む児童の育成

学校の経営方針

子供を主語とした学校教育の推進

明朗自治 責任 協同奉仕

(自己肯定感と自己有用感の育成 学力の向上 集団づくり)

つくば市の教育目標

「みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園」
自己実現できる学校・みんなで支えあい、みんなが生き生きした学校

輝翔学園研究テーマ

互いに協働することを通して、主体的な学びを実現する児童生徒の育成

働き方改革の推進

時間外勤務時間について
月45時間以内を目指す

目指す教師像

児童の可能性の芽を引き出す教師
使命感と責任感を自覚し、活力に満ちた教師

今年度の組織目標

主体的に学び、自分の思いや考えを言語活動を通して表現できる児童の育成
互いのよさを認め合い、自他を大切にできる児童の育成

やさしい子の育成

「心」づくり「居場所づくり」

自己肯定感 自己有用感 温もりのある関係 協働

「管理」から「自己決定」へ

「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ
温もりのある学級づくり

- ・いじめを許さない学年学級風土の醸成
- ・学級活動を基盤とした自己肯定感・自己有用感の育成
- ・合意形成、意思決定を大切にした学級会活動
- ・道徳教育の充実「考え・議論する道徳」への質的転換
- ・委員会、係活動での創意工夫（一人一役で自己有用感を高める）
- ・教育相談の充実
- ・協働のよさを味わい、認められる機会がある充実した授業づくり

豊かな体験活動～地域、学園の一員として～

- ・児童主体の集会活動
(創立151年目「新たな出発」をテーマとした様々な集会活動)
- ・コミュニケーションスキルの獲得
- ・学園としての取り組み（あいさつ運動 地域清掃ボランティア）
- ・縦割り活動（通学班 ふれあいたいむ）

いじめ防止運動の実践（代表委員）

- ・各種啓発活動
- ・いじめ防止集会

誰もが安心できる居場所づくり

- ・校内フリースクール

たくましい子の育成

基本的な生活習慣

強い心と体 規範意識 健康な体づくり 危機管理意識

「管理」から「自己決定」へ

基本的な生活習慣と規範意識の確立

- ・谷小のよい子 輝翔学園7つのやくそくの活用
Y'sスタイルの奨励（5、6年生）
- ・「あいさつ・時間を守る・そうじ」の実践

健康な体 体力向上

- ・運動量を確保した体育授業の実践
- ・体力テストの結果を生かした体力作りの実践
- ・外遊びの奨励 ロング昼休みの活用

保健・安全教育の推進

- ・養護教諭や栄養教諭、民間企業との連携による授業の充実
- ・食に関する指導や給食指導を通して自己管理能力を育成
- ・発達段階に応じた性に関する指導
- ・学校保健委員会を中心とした保護者との連携

安全への意識を高める指導～地域や自治体、民間企業との連携～

- ・各種教室の実施
交通安全教室 避難訓練（防災・火災・防犯）
情報モラル講演会 薬物乱用防止教室

勉学に励む子の育成

探究する学び

試行錯誤しながら探究し、確かな学力を培う授業

「教え」から「学び」へ… 探究的な学びの推進

主体的・対話的で深い学びを促す授業の展開

- ・ワクワクする課題提示
- ・問いからはじまる学びの推進
- ・付けたい力を明確にした言語活動の位置付け
- ・根拠や理由を示した言語活動の実践
- ・身に付けた力を自覚できる振り返りの時間の確保
- ・一人一台端末と電子黒板の連動を取り入れたICTの利活用
- ・カリキュラムマネジメントの推進

学力保障

- ・少人数指導 T・Tによる指導 ユニバーサル化の推進
- ・基礎、基本の定着

授業改善

- ・授業改善プランを意識し、RPDCAサイクルによる検証

家庭学習の習慣化

- ・家庭と連携した家庭学習の推進「家庭学習のすすめ」
「家庭学習がんばりカード」「家庭学習強化週間」

小中一貫教育の充実発展

- ・教科担任制、専科教員による専門的な指導
- ・つくばスタイル科の推進【In/About/For】

コミュニケーション力 コラボレーション力 プレゼンテーション力

学校が楽しい児童90%以上
自分のよいところが分かる児童85%以上
友達のよいところを認める児童85%以上

あいさつができる児童80%以上
体力テストA+B 50%以上
校内事故の前年度比較減少

授業がわかると感じる児童85%以上
対話的な学びで考えを深めている児童80%以上
分からないことを聴ける児童90%以上

地域や保護者の理解と協力、連携、協働 学園での取り組み アセスメントに基づくRPDCAサイクル スキルアップ・資質向上のため

信頼される開かれた学校づくり

○教育活動に関する情報発信（ホームページ・オープンスクール・各種だより）
○教育活動の外部評価の実施と積極的な公表

地域の教育資源・人材の活用

○ゲストティーチャー・ボランティア
○交通安全指導協力
○授業支援